

俳句

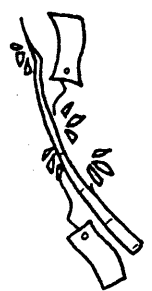
二月二十日 土曜
高知市 鏡川河町 百草園
(上町三丁目)

合田青幹
去來せる心に春の庭巡る
筆勢の師の短冊や梅薫る

田所たねを
御典医を偲ぶ百年下萌ゆる
今日もまたオリソピックの
雪景色

中内英明
龍馬生れ育ちし街や風光る
緋鳥鴨雲に乗る日を姦しく

中内みち代
大いなる沓脱ぎ石に難の客
何の芽となく唄はれて
あたたかし



川柳

小澤幸泉
風を呼ぶ男のロマン
龍馬伝

雨しきり
ひたすらに夜明けを告げる

から生まれ
名曲がパイプのけむり

すくと立ち
基地の街デイゴの花は

妻の寝顔
新婚の面影みえる

眠れない
ポジティブな日記書き終え

鷺の群れ
耕田の虫をつつきし

春の駅
愛ひとつ呉れし別れの

両手をあげ
新しい風に真向かい

基地は消え
安保廃棄その一声で

小笠原さちを
下萌や亀石田む垣新に
川波の煌めき鴨の影を載せ

三月二〇日 土曜
須崎市 桑田山
合田青幹

吉本伸秋
薬の背丈を越えし寒桜
一ト曲り又一ト曲り桜咲く

中内英明
門の無き山家の暮し花馬酔木
飛び立ちし雉鳥に一瞬声をのむ

中内みち代
うたた春天心を衝く葱坊主
うたた春天心を衝く葱坊主



三十五の思い出 其の四

大分 小鹿田焼きの里

松山 和雄

宿を出て間もなく、空模様
は怪しくなってきた。早めの
昼食を済ませ、雨足が弱まる
のを待つことにした。食堂で
道を確認して、薄日の射しは
じめた中を再び車を走らせる。

大分の「宇佐神宮」をスラ
イドに撮ってのついで、一度
訪ねて見たかった「小鹿田焼
きの里」が今日の目的地だ。
川筋に沿った狭い一本道を、
肩を揺らし流れに逆らってし
ばらく登ると、雨霧の煙る谷
あい突然集落が現れた。ど
の家の軒先にも、一様に同じ
色合いと模様の陶器が大小取
り混ぜて雑然と積み上げられ
ている。茶色の刷毛模様の上
に、柔らかな透明感のある乳
白色の釉薬のかかった地味な
食器が、先ほどの雨に洗われ
たままだ。

集落の際奥に車を置き、早
速、溪流の流れに沿って工房
を訪ねた。また雨上がり間も

中内みち代
連翹の黄の鮮やかに奔放に
せせらぎの岩に貼りつく

花の塵
小笠原さちを
石組みの一段ごとに蝶の舞
敷藁をつき上ぐ芽吹き

一と並び
藩君日本の国立大学へ

山本晶子
小学の三年生で日本に来二年ほ
ど前父母は中国へ

藩君の大学合格祝うため今宵集
いし焼肉の店に

ない路面は雨水が流れ、道路
ぶちのヨモギの葉に載った水
滴がキラリと光って美しい。
見上げれば左右の山の木々
はたつぷりの雨水を受け、ま
るでカリフラワーやブロッコ
リーのように緑も鮮やかに盛
り上がっている。

溪流は薄くにごり、勢いを
得て右に左に音を立てて流れ
下る。谷岸に建てられたトタ
ン葺きの小屋には、流れを
「寛」によって導かれた水が
「唐臼」と呼ばれる陶土を砕

く巨大な「獅子オドシ」のよ
うな「杵」の端にある水受け
に活きよよく注がれている。
いくつもの「杵」がまるで恐
竜の首のごとくゆるりと首を
持ち上げてはズンと振り下ろ
される。首が振られるたびに、
溪流の速いリズムに調子を重
ねて、地の底からわきあがる
長く重量感のある鳴き声にも
似た「きしみ」の音が谷間に
響く。鳴き声が一息つくくと、
「臼」の中の陶土を「杵」が

大学院は筑波をめざし微生物の
研究者にぞなりたきと言う

命まで心人々
叶岡淑子

冤罪の晴るなく命消されしは幾
人なりやこの国の闇
(四十九年間無実を訴える死刑囚・
奥西勝さんをおも)

闊いと後援会のあらばこそ冤罪
晴れて菅家さんの笑顔
(十七年半ぶりに「完全無罪」の菅
家利和さん)

六三年の歴史想いで献花せり春
なお浅き無名戦死墓
(三月、国民救援会主催「追悼会」
募金に感謝をこめて)



つく短い打撃音が足元を揺る
がし聞こえてくる。少し歩く
と別の小屋からも、またおな
じ組み合わせだが音色やリズ
ム・高低を少し変えて聞こえ
てくる。悲しく切ない音楽を
聴いているようだ。

水の流れが奏でる絶妙な合
奏曲を聴きながら、十軒余り
の窯元をほしごして、集落の
入り口まで降りて来ると、そ
こには朝鮮様式の道祖神の石
像二体と注連縄をかけた石碑
が建っていた。

そういえば、四百年余の昔
朝鮮に侵攻した日本軍の大名
達は、撤退するとき多くの
朝鮮の陶工をはじめとする技
術者・技能者を強制的に連れ
帰ったという。「日本の音百
選」にも選ばれたこの水の音
は、まさに文禄・慶長の「焼
き物戦争」の犠牲になった
人々の、望郷の怨歌のように
聴こえた。

次回 京都 永観堂

4月の集会報告

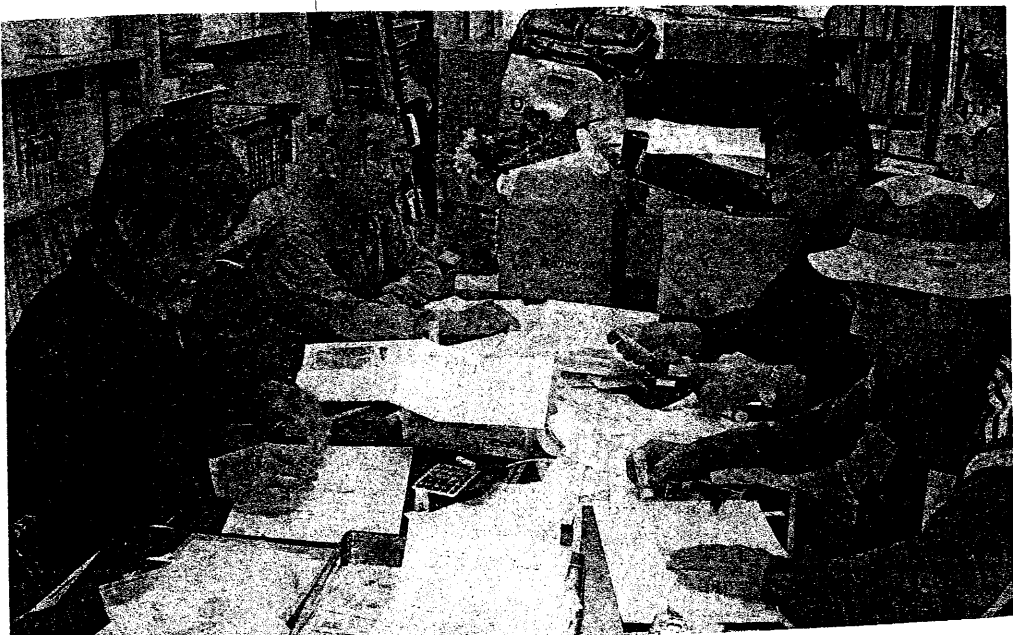
後期高齢者医療制度の 速やかな廃止を求める！ 4・15昼休み集会

後期高齢者医療制度の廃止を
求める高知県実行委員会(高退
協加盟の県革新懇など民主団体、
労組で構成)が、15日行いました。
年金から後期高齢者医療保険料
が引かれる15日に合わせて開い
ているもので、今回で15回目。小
雨のなか、人が参加した。県社
会保障推進協議会の山岡博明事
務局長が「民主党政権で廃止先
送りや、対象年齢を65歳に引き
下げることが検討されている。
廃止を求める署名を広げ、世論
をたかめよう」とのべました。
また、今井好一高知医療生協
本部事務局長は潮江診療所が実
施している無料低額診療事業に
ついて報告。「解雇などで数カ月
で貧困状態になり、まともな医
療を受けられなくなり、お
金で命の格差があつてはならず、
国が命と健康を守る責任を負う
政治が必要です」と訴えました。

原稿募集!

高退協ニュースの原稿を募集しています。
定番の「草声老語」「老眼鏡」「旅のしおり」「私の健康法」などにも、どしどしどうぞ。
そのほか地域での活動・私の趣味・県外(国外)での暮らし・今思うこと(怒り・喜び
・意見等)など書いていただけたら、と思います。
パソコンをお使いの方は、文字ポイント11で、縦書きで、一行13字でプリントして
いただければ、そのまま貼り付けできます。
原稿用紙でもかまいませんが、縦書きで13行で書いていただければありがたいです。
編集係より

ただいま 高退協ニュース編集中!



普天間基地即時撤去! 沖縄に新 基地建設を許さない 4・26高知県民集会

「郷土の軍事化に反対する高知
県連絡会」が主催、250人が参加
しました。県平和委員会の和田
忠明事務局長が「普天間基地は
住民を追い出して造った国際法
違反の基地で、アメリカが持ち
帰るのが当たり前です。25日の
沖縄での集会はアメリカと鳩山
政権にノーを示した歴史的な集
会となりました。普天間基地の
無条件撤去を実現しよう」と呼
びかけました。

また、サロン金曜日(山本啓さ
ん)は「沖縄の問題は日本全体の
問題」と強調し、「普天間の移設
場所を考える必要はない。もう
日本のどこにも米軍基地は要ら
ない」と訴えました。
参加者は、国内すべての米軍基
地の早期閉鎖を求め、「沖縄の闘
いに連帯を」と呼びかける集会
決議を採択し、中央公園までデ
モ行進を行いました。

主な活動と参加

- 三月
- 二日 第十一回事務局会議(高退協ニュース三月号発送)
- 八日 第七回南炎忌 墓参 忍ぶ会 二〇一〇年国際女性デー 県中央集会
- 九日 県革新懇代表世話人会
- 十二日 県高退連幹事会
- 十九日 《重税反対全国統一行動》イラク戦争反対 World Peace Now 県民集会
- 二十三日 後期高齢者医療制度即時廃止実行委員会
- 二十四日 陸上自衛隊第50普通科連隊の移駐歓迎に反対する行動
- 二十七日 《後期高齢者医療制度・県広域連合議会》傍聴
- 二十八日 退職女性教職員との交流会 教育講演会(総会・子連)

四月

- 六日 第十二回事務局会議(定期総会議案書/案内発送)
- 九日 県高退連幹事会
- 十三日 県革新懇代表世話人会
- 十五日 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める昼休み集会
- 二十四日 知花昌一さん 三線演奏と講演会
- 二十四日 2010年度高退協定期総会 退職者を励まし新加入者を祝う会
- 映画「日本の青空Ⅱいのちの山河」
- 二十六日 沖縄県民と連帯し、普天間基地の即時・無条件撤去を! 4・26県民集会
- 二十八日 メーカー前夜祭 映画「ストライキ」上映

五月

- 一日 第81回メーカー高知県中央集会 くらしあったか村 なんでも相談会
- 高退協ニュース五月号編集委員会
- 三日、二十八日 《ニューヨークNTE(核不拡散条約)再検討会議》

訃報

- 平石照喜さん 二〇〇八年逝去されました。
- 豊永哲史さん 二〇〇九年十二月逝去されました。

謹んでお悔やみ申しあげます。